opusdei.org

現代の奇跡(フィリ ピン)

神は、信仰と愛に満ちた日常生活において歩むべき道を教えてくださる。ルポルタージュは、シャーリの右耳に香水が入った1989年4月から筆を起こしている。

2001/12/20

神は、信仰と愛に満ちた日常生活に おいて歩むべき道を教えてくださ る。ルポルタージュは、シャーリの 右耳に香水が入った1989年4月から 筆を起こしている。

シャーリは、焼け付くような痛さを 堪えながら、ハンカチで香水を拭っ た。痛みを忘れようとしたが、四日 後にまた痛み出した。五日目には、 もう耐えられなくなった。診察にあ たった医師は、手術を勧める。「そ んなに危険な状態なの」。驚く シャーリは、病院の職員に尋ねた。

こともありましたが、奥の方まで消毒しなければなりませんでした。脳に感染が広がる恐れがあったからです!

「夜も眠れず、数日間、仕事もできませんでした。膿が溜まるごとに消毒してもらいましたが、その日は、一睡もできませんでした。1992年には、化膿がひどくなり、手術は避けられないように思えました」とシャーリーは語っている。

ヌブラ医師は滴剤を処方し、さらに水と酢で耳を洗うよう勧めた。しかし、病状はひどくなるばかりだった。

1993年の5月末ごろ、ヌブラ医師は、福者ホセマリア・エスクリバーに祈ってみたかと尋ねる。彼女は、はいと答えたものの、自分の耳のことまでは頼んでいなかった。「耳が治るよう福者に祈ってみては」という医師の言葉に、「そう祈ります。

先生もお願いしてください」と答えた。

ヌブラ医師は、心の中で福者ホセマリアに挑戦状を突きつけていた。 「皆が言うように聖人なら、彼女の病気を治してくださるでしょうね。」そして、一週間後に来院するよう、シャーリに伝えた。

治癒

シャーリは、三週間後にやってきた。医師は、何の痛みも訴えず、元気そうな姿を見て訝しがった。耳の検査結果を見て、驚きを隠せなかった。膿が完全に消えている。

ヌブラ医師は、証言で次のように述べている。「シャーリの治癒は、福者ホセマリアの取り次ぎによるものだと確信しています。彼女のみならず、私自身もお恵みを頂きました。|

シャーリが治癒したのは1993年の6月。それから6年以上も経っているが、それ以降、右耳が化膿した事実はない。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/xian-dai-noqi-ji-huiripin/(2025/10/29)